

<b>報道記者発表資料</b>  <b>朝 来 市</b>	提出日	令和5年11月9日
	問合せ先	担当部署：健幸づくり推進課
		電話：079-672-5269
	担当者	課長：藤井 美景
担当：大垣 奈央、福富 麻起子		

件名	<b>産婦人科・小児科オンライン相談試験導入開始</b>
----	------------------------------

朝来市では、本市の安心できる医療体制や妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を充実させるため、身近に利用しているスマートフォン等から、24時間いつでもどこでも気軽に、小児科医、産婦人科医や助産師に相談できる環境を提供できるサービスを11月1日から試験導入しました。

ぜひ妊娠、出産、子育てにお役立てください。

朝来市は、安心して妊娠や出産、子育てができるよう子育て世代の皆さんをサポートします

1 名称 「産婦人科・小児科オンライン」

2 内容

- (1)いつでも相談：毎日24時間質問を受付、原則24時間以内に医師/助産師から回答送付
- (2)夜間相談：平日18時～22時（1枠10分の予約制）、メッセージチャットや動画通話で対応
- (3)日中助産師相談：月、水、金13時～17時予約なしで助産師とLINEのメッセージチャットが可能

3 対象者

（試験導入期間については、以下の方を対象とします。）

妊娠、子育て中（主に未就学児）の保護者

4 利用料金

利用料は無料（通信料は利用者負担）

5 お問い合わせ

朝来市健幸づくり推進課 電話079-672-5269

6 添付資料

産婦人科・小児科オンラインチラシ

朝来市にお住まいの方限定

# 小児科医・産婦人科医・助産師に スマホで無料相談できます



子どもの肌荒れが  
なかなか  
良くならない  
どうしたら良い?



妊娠してから  
便秘と腰痛が辛い  
改善策や使える薬を  
知りたい



下痢で保育園を  
お休みしたけど  
登園可能となる  
目安を教えてください



母乳が  
足りているか心配  
ミルクは  
追加が必要?



## 夜間相談

平日 18時～22時 1枠10分の予約制



LINEのメッセージチャット/  
音声通話 / 動画通話

## いつでも相談

毎日24時間受付 原則24時間以内返信



ウェブサイトから  
相談を送付できます

## 日中助産師相談

月・水・金 13時～17時 予約なし



予約なしで助産師と  
LINEのメッセージチャットが可能

## コンテンツ配信

医師・助産師による季節や状況に合わせた医療記事や、子育てのポイントを解説するLIVE動画をお届け

まずはLINEの  
友だち追加を!



## 会員登録に必要な合言葉

合言葉が不明な方は、健幸づくり推進課  
(079-672-5269) までご連絡ください

※LINEをご利用でない場合は、「小児科オンライン」または「産婦人科オンライン」を検索してウェブサイトから会員登録・利用を行ってください。

※どちらかのサービスを登録すれば両サービスを利用できます。

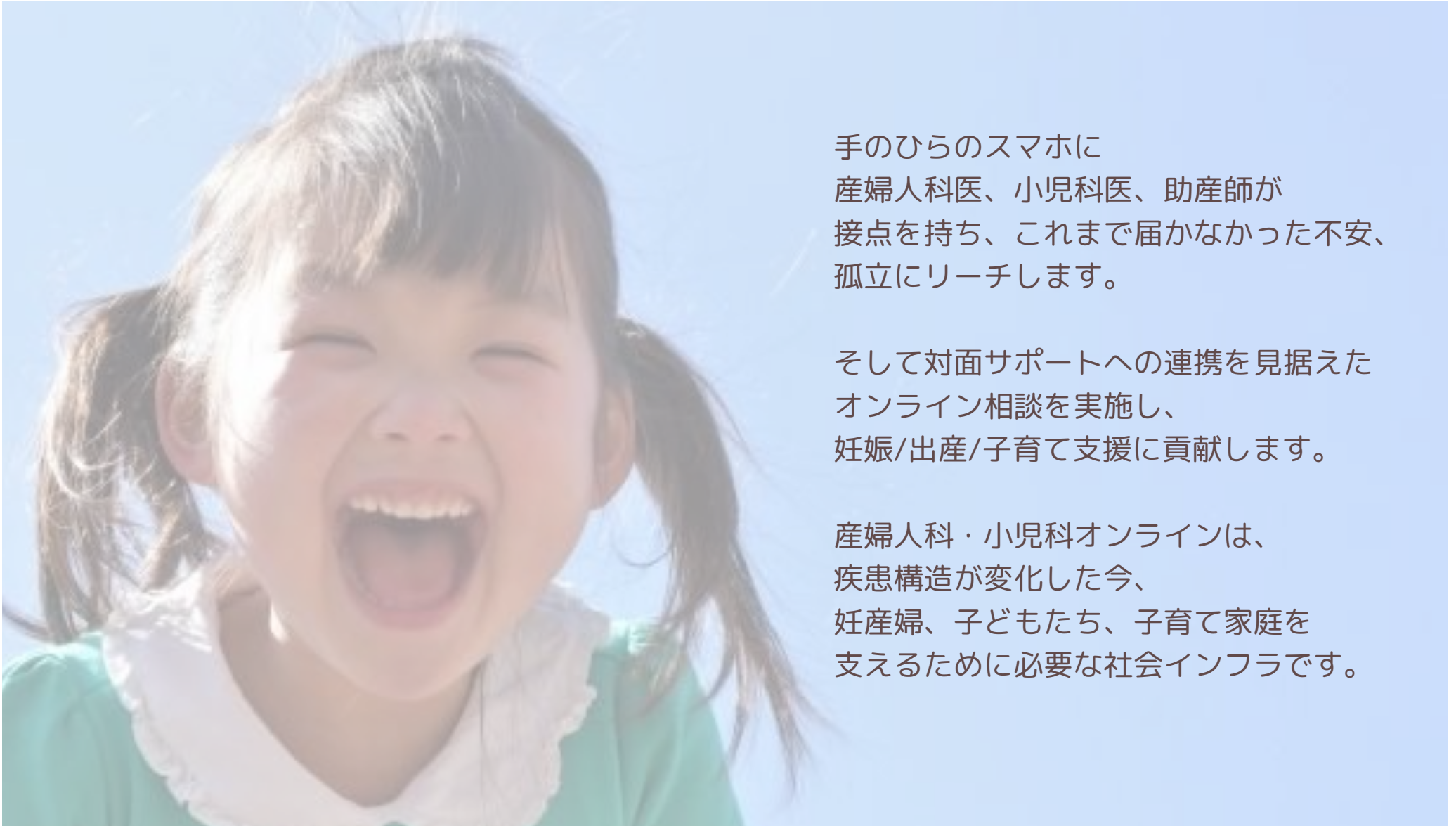
※朝来市の方限定で無料で利用できます。市外に住民票のある方は利用できませんのでご了承ください。



# サービスご紹介資料

産婦人科オンライン・小児科オンライン

株式会社Kids Public



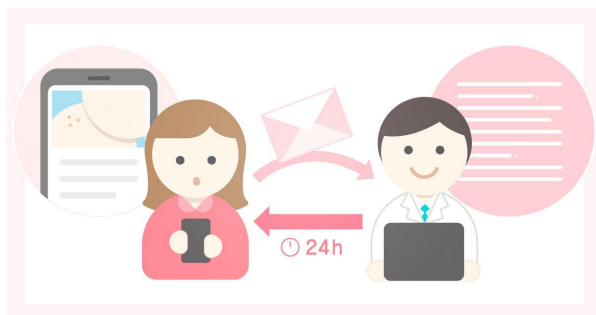
手のひらのスマホに  
産婦人科医、小児科医、助産師が  
接点を持ち、これまで届かなかった不安、  
孤立にリーチします。

そして対面サポートへの連携を見据えた  
オンライン相談を実施し、  
妊娠/出産/子育て支援に貢献します。

産婦人科・小児科オンラインは、  
疾患構造が変化した今、  
妊産婦、子どもたち、子育て家庭を  
支えるために必要な社会インフラです。

## いつでも相談

- 毎日24時間、質問を受付
- 原則24時間以内に医師/助産師より回答送付



## 夜間相談

- 平日18時～22時（1枠10分の予約制）
- **メッセージチャット**や**動画通話**に対応



## 日中助産師相談

- 月・水・金13時～17時
- **予約なし**で助産師とLINEのメッセージチャットが可能



## 医療記事配信

- 小児科医/産婦人科医/助産師が執筆した記事をメールやLINEで配信

## オンラインLIVE配信

- 授乳や卒乳、離乳食などに関する動画をLIVE配信
- 配信後1ヶ月はアーカイブ動画を閲覧可能

## 産後うつフォロー

- 産後1年まで定期的にスクリーニングを実施



どこにいても簡単に  
小児科医・産婦人科医・助産師と繋がれる

いつでも医療者に  
相談できる

安心感



医療記事配信や  
LIVE配信で

勉強



ふとした悩みは  
botや情報サイトで

自己解決



困ったらいつでも  
オンラインで

医療者に相談



通常時

→ 不安発生

産婦人科・小児科オンラインを導入いただくことで、  
より手厚い妊娠/出産/子育てサポートが可能になります

## 一般的な 妊娠/出産/子育てサポート

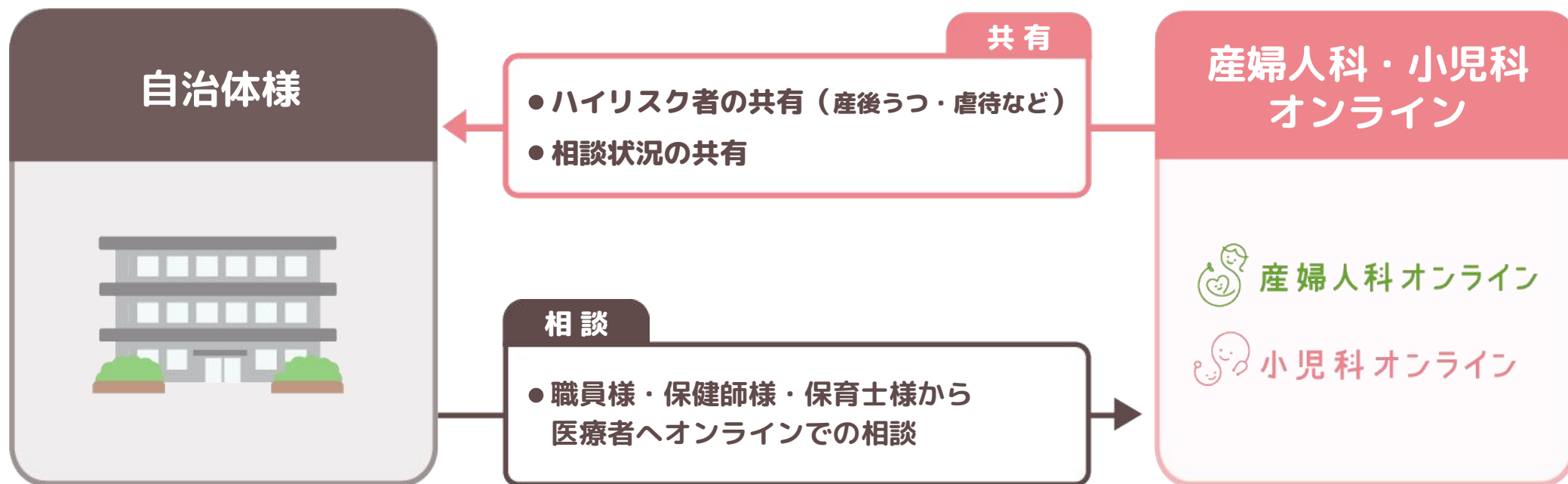
- 1 電話相談
- 2 対面サポート（定期訪問など）
- 3 支援制度の整備



## 弊社サービス 導入後

- 1 オンライン相談（24時間対応）
- 2 産後うつ  
自動スクリーニングシステム
- 3 医療記事配信
- 4 住民参加型・動画ライブ配信
- 5 悩み自動解決bot（オプション）

また自治体様との連携を密に行わせていただくことで、自治体様の妊娠 / 出産 / 子育てサポート活動をより効果的・効率的にします





オンラインツール（メッセージチャットや動画通話）を通じ、  
手軽に悩みや不安についてご相談いただけます。

## いつでも相談

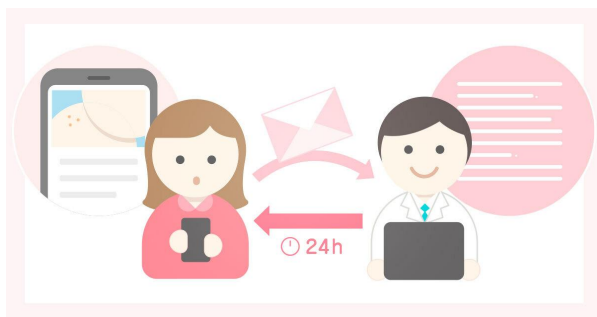
- ・ **毎日24時間**、質問を受付
- ・ 原則24時間以内に医師/助産師より回答送付

## 夜間相談

- ・ 平日18時～22時  
（1枠10分の予約制）
- ・ **メッセージチャット**や**動画通話**に対応

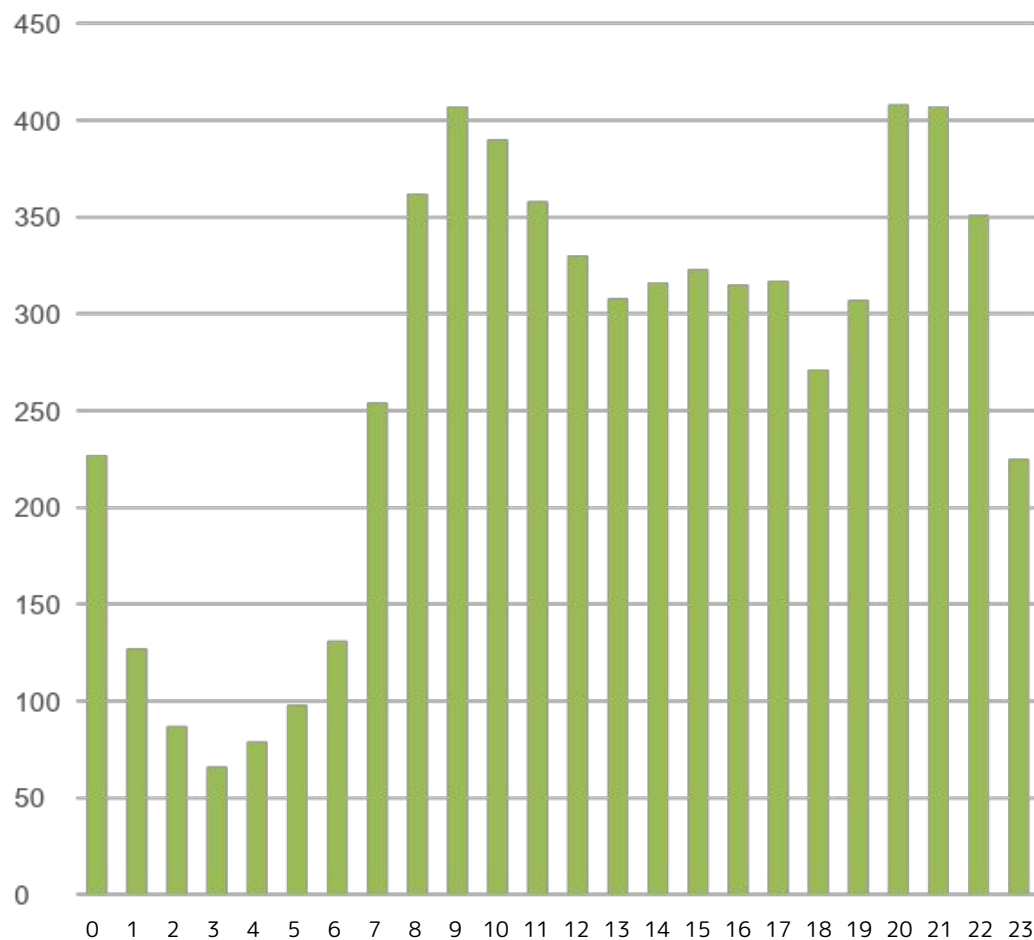
## 日中助産師相談

- ・ 月・水・金13時～17時
- ・ **予約なし**で助産師とLINEのメッセージチャットが可能

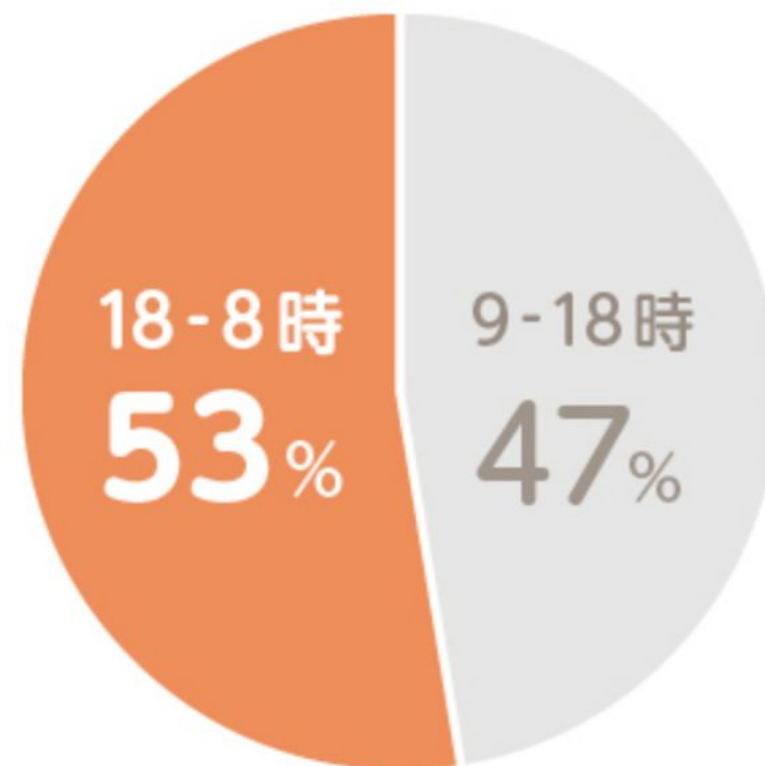


## 夜間に相談したいという住民の方のニーズは強い

いつでも相談受信時間分布(n=6,464)



時間帯による比率(n=6,464)



※調査期間：2020年11月1日～2021年6月21日

## 電話よりも使い慣れたLINEなどの手段が好まれる

		小児科医	産婦人科医	助産師	総計	割合
		件数（件）	件数（件）	件数（件）	件数（件）	
夜間相談	LINE メッセージ	3,200	1,812	457	5,469	15%
	LINE 音声通話	1,983	1,274	837	4,094	11%
	LINE ビデオ通話	1,645	40	78	1,763	5%
	電話	249	466	172	887	<b>2%</b>
いつでも相談		14,768	6,341	3,094	24,203	66%
総計		21,845	9,933	4,638	36,416	100%

※調査期間：2020年5月1日～2020年8月31日

育児相談など病院では相談しにくいようなものから、乳児湿疹や月経不順など専門性が必要なものまで、相談種類は多様

	小児科医		産婦人科医		助産師	
	いつでも相談	夜間相談	いつでも相談	夜間相談	いつでも相談	夜間相談
1位	育児相談など	育児相談など	保健相談 (妊娠中)	月経不順	育児相談など	育児相談など
2位	乳児湿疹	発達相談 (正常範囲含む)	月経不順	切迫流産	その他の 授乳相談	精神的な 不調や不安
3位	湿疹	頭部打撲	保健相談	保健相談 (妊娠中)	授乳リズム (生活リズム含む)に 関する相談	母乳分泌量に 関する相談
4位	便秘症	急性上気道炎	切迫流産	保健相談	精神的な 不調や不安	その他の 授乳相談
5位	急性上気道炎	乳児湿疹	保健相談 (産後)	避妊相談	母乳分泌量に 関する相談	授乳リズム (生活リズム含む)に 関する相談

## 現役の小児科医・産婦人科医・助産師の対応をお約束します

- 対応する相談員は、小児科医・産婦人科医・助産師に限っています。採用の条件として**日本の国家資格を有していること、専門領域での臨床経験を3年以上有していること**を定めています。
- 多様な専門の医師・助産師が所属しているので、悩みに合わせて相談医師を選択できます。
- 2023年9月現在、**190名を超える医師等**が参画しています。相談数の増加に伴う相談員の増員も可能です。
- 2020年には、経済産業省の委託を受け、コロナ禍の健康不安に対応するため**全国民へ無償提供を一時的に実施**した実績も有しております。その際は現在の6倍の規模の相談に対応していました。



小児一般



小児一般



小児がん



小児一般・  
感染症  
予防接種



母乳育児  
成長発達



消化器



産婦人科一般



産婦人科一般



産婦人科一般



助産一般  
母乳栄養



母乳育児  
ヨガ



助産一般  
母乳栄養

## 相談例

### （小児科）

- ・ 2ヶ月ほど湿疹がよくなったり悪くなったりをくり返しています。かかりつけで処方された薬を使っていますがこのままで良いのでしょうか
- ・ 小学生の低学年ですがおねしょが治りません。病院を受診するべきでしょうか。またどのような病院を受診するべきでしょうか

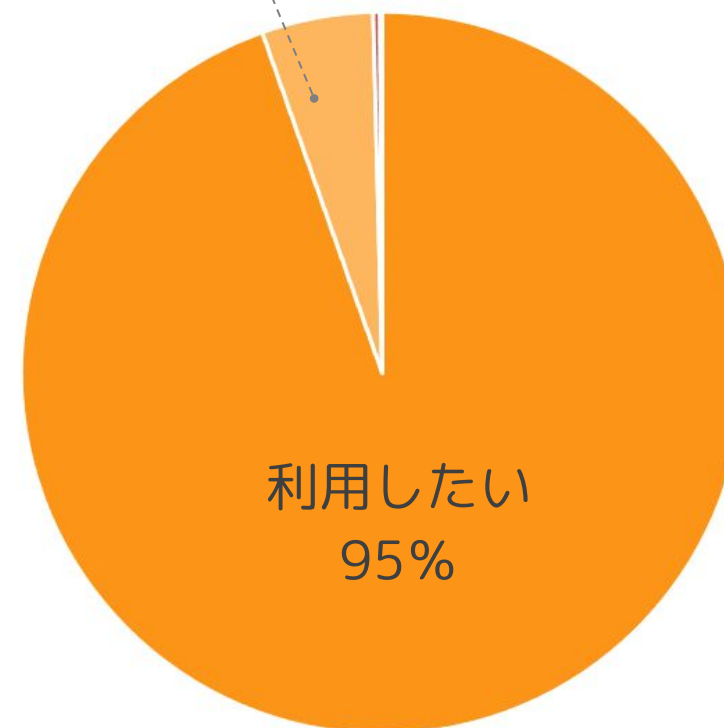
### （産婦人科）

- ・ 頭痛があり、鎮痛剤を飲みたいが、授乳中でも飲んでいい薬はあるか
- ・ 完全母乳が良いという記事を読んだのですが、完全母乳で育てないと悪いことがあるのでしょうか。産後にちゃんと授乳ができるのか不安です

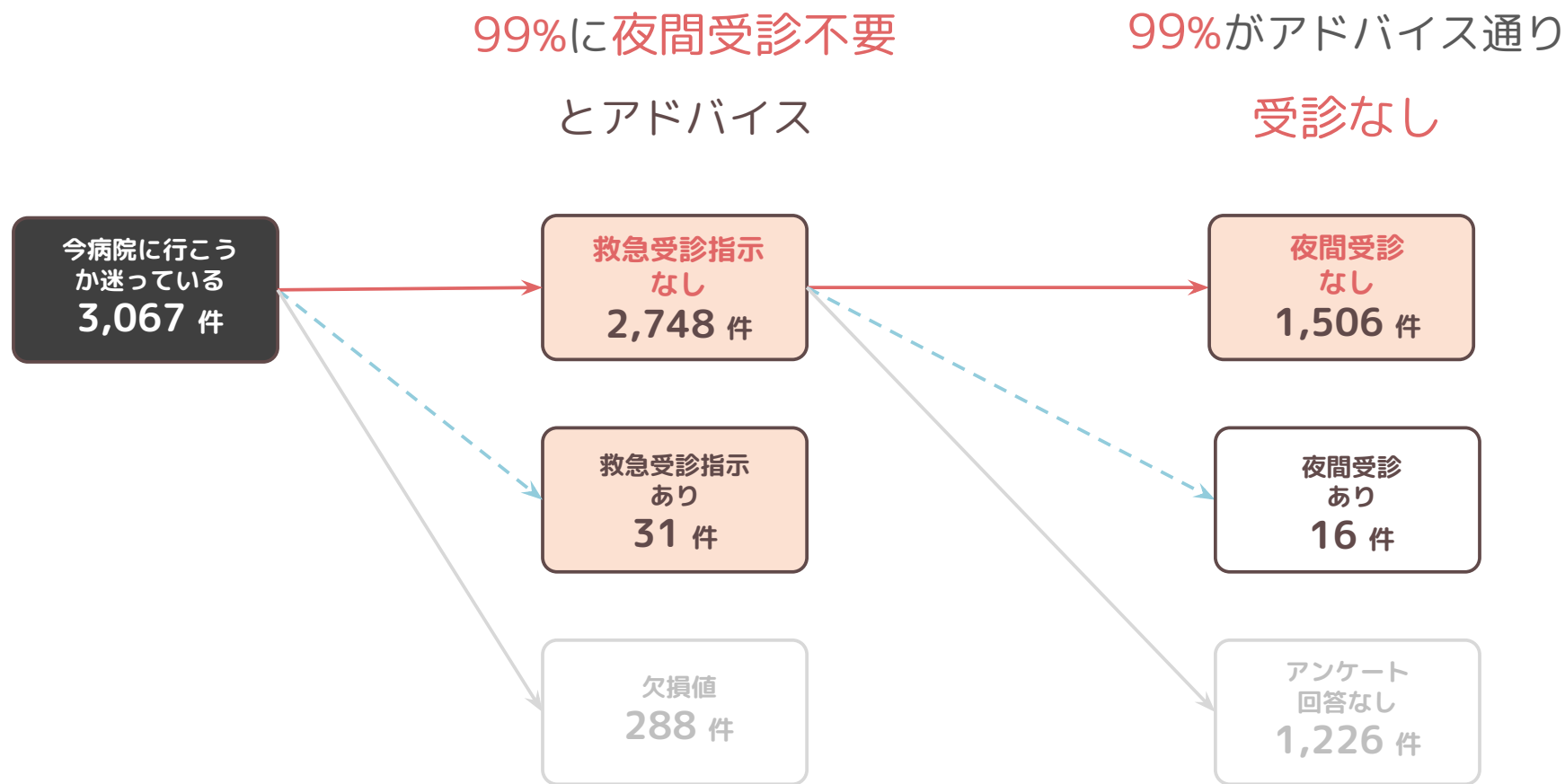
## 利用満足度

99.7%が再び利用したいと回答

どちらかといえば利用したい  
4.7%







ほぼ全員が小児科医の指示通り不要不急の受診を控えた

## 住民の方だけではなく、自治体関係者の方からの相談も可能です

### 職員・保健師さまから



- ・自治体職員・保健師の方が、住民への対応などに困った際に、医師にオンラインで相談いただけます。

### 保育士さまから



- ・保育士さんが、こどもの発達問題や、保育園の衛生問題などで困った時、医師に相談いただけます

## ハイリスク者はより手厚く

### 産婦人科オンライン

#### エジンバラ産後うつ質問票

こちらは産婦人科オンラインが実施している皆様への質問票です。  
回答結果は、回答者の方が産婦人科オンラインをご利用する際に、医師や助産師がより適切なアドバイスを行なうために利用させていただきます。  
また、個人が特定できない形に修正・加工等の処理を行った上で、学会発表、統計、サービス向上の目的のために利用させていただいております。

ご出産から今までのあいだにどのようにお感じになったかをお知らせください。今日だけでなく、過去1週間を振り返ってみましょう。なお、必ず10項目に答えてくださいね。

#### 最近感じたことについて

1.笑うことができたし、物事の面白い面もわかった。 **必須**

- いつもと同様にできた。  
 あまりできなかった。  
 明らかにできなかった。

2.物事を楽しみにして待った。 **必須**

- いつもと同様にできた。  
 あまりできなかった。  
 明らかにできなかった。  
 全くできなかった。

3.物事が悪くいった時、自分を不必要に責めた。 **必須**

- はい、たいていそうだった。  
 はい、時々そうだった。  
 いいえ、あまり度々ではなかった。  
 いいえ、全くそうではなかった。

4.はっきりとした理由もないのに不安になったり、心配した。 **必須**

- いいえ、そうではなかった。  
 ほとんどそうではなかった。  
 はい、時々あった。  
 はい、しょっちゅうあった。

### 実施方法

- 産後1,3,5,11カ月のユーザーに対してメール送付
  - 小児科オンライン登録時に、「一番下のお子さんの生年月日」を記入した方が対象（※回答は任意）
  - 産婦人科オンラインの登録時または利用時に、出産予定日または最後の出産日を記入した方が対象（※回答は任意）
- リスクの高いユーザーには、メッセージを送信

### EPDSとは

妊娠・出産を経験された  
全員に行うことが産婦人科の  
関連学会で推奨されている  
世界標準の問診票

### サービス意義

産後うつリスクの早期発見と適切な相談・受診につなげる

オプション  
提供

## くすりぼ

### 【概要】

- 多くの人々が悩む「**妊娠中～授乳中の薬**」の悩みに**人力がかからない形**で対応
- BOT形式で回答を即時表示
- ユーザは4～5問の設問に回答
- 回答内容に応じて飲んででも良い薬、症状に関する受診の目安などを表示

### 【提供方法】

- 自治体様のウェブサイトに掲載
- サービスURLを住民の方に告知など

→今後、不妊治療に対応したbotなどを開発予定



## 住民の医療リテラシーを向上させることで、事前に不安を解消

### インフルエンザの予防接種はいつから大丈夫？

📅 2018年11月10日    👤 syounikaonline  
📁 予防接種、感染症    🏷️ 田中俊之



インフルエンザ予防接種の時期になると、0歳児のお子さんを育てるお母さんから、予防接種のタイミングに関して質問されることがあります。特に初めてのお子さんだと気になりますよね。今回はインフルエンザ予防接種の時期に関してお伝えしたいと思います。

### インフルエンザワクチンの重要性

### 子宮頸がんはワクチンと検診でほとんど予防可能な病気です

📅 2020年10月7日    👤 産婦人科オンライン  
📁 婦人科    🏷️ 赤羽宏基



主にウイルス感染が原因で起こる子宮頸がん。年々患者数が増えており、若い人に起きやすい病気です。子宮頸がんについて正しく理解し、ワクチンと検診でしっかり予防しましょう。

子宮頸がんのほとんどはウイルス感染が原因です

### 子宮頸がんに関する解説記事

## 専門家が分かりやすく医療情報を発信



### 動画配信概要

- ・ YouTubeにてライブ配信
- ・ 1回20～30分程度

### サービス意義

- ・ 多く寄せられる相談や、「知っておいて欲しい」内容を伝えることで健康知識・家庭看護力の向上に貢献



## 相談状況の共有

The screenshot displays the 'Kids Public 管理画面' (Management Screen) with a sidebar on the left containing links for 'ホーム', '主訴一覧', 'アンケート', '詳細データ', and '医療情報発信'. The main content area is titled '医療情報の発信履歴' (Medical Information Distribution History) and includes a '一覧' (List) button. It shows three entries: 1) '乳腺炎と食べ物についてLINEで配信しました (一部)' dated 2022年05月23日(月) with a '詳細をみる' (View details) link; 2) '不正性器出血についてLINEで配信しました' dated 2022年05月19日(木) with a '詳細をみる' link; 3) '子どもの中耳炎についてLINEで配信しました (一部)' dated 2022年05月18日(水) with a '詳細をみる' link. Below this is a '登録・利用状況' (Registration and Usage Status) section with a '累計登録数' (Total registration count) box. A date selector is set to '2022年05月'. A table shows '当月登録数' (Current month registration count) for '小児科' (Pediatrics) and '産婦人科' (Obstetrics and Gynecology), with sub-columns for '夜間' (Night) and 'いつでも' (Anytime). A 'CSVダウンロード' (Download CSV) button is present. The footer shows '©2021 Kids Public'.

- ・ 管理画面にて**毎月の相談実績**を報告いたします
    - 登録数
    - 相談カテゴリー別相談数
    - アンケート回答
- ※個人を特定できない形での共有となります

※ハイリスク者に関しましては別途ご共有させていただきます。

- 虐待：住民からの同意得ずに共有
- 育児不安、産後うつ疑い：住民からの同意を得て共有

※ご報告内容は統計目的にご利用いただき、関係者以外への伝達は控えて頂きますと幸いです。

※ご報告内容によって個人を特定・推察することは、サービスの信頼に関わりますので絶対に行わないようお願いします。

# 他サービスとの違い

confidential

	産婦人科・小児科 オンライン	他オンラインサービス	外来	#8000
診断・処方	×	×	○	×
産婦人科医、助産師、小児科医による対応保証	○	△	○	×
受診アドバイスの中で、夜間緊急受診を勧める割合	<1%	?	—	19.9%
電話	○	×	—	○
ビデオ通話	○	×	—	×
LINEメッセージチャット	○	○	—	×
情報配信	○	○	—	×
緊急性のある利用者の対面サポートへの連携	○	×	○	×
フェムテック（月経などの女性ならではの健康課題）、産後うつ、アトピー減少などのエビデンス	○	×	○	×

# 導入実績・導入効果

# 導入実績：利用可能自治体(市区町村単位)

confidential

## 全国124箇所の自治体が利用可能

※2023年11月現在 ※3箇所の非公開自治体あり

都道府県		市町村	都道府県	市町村
北海道	北海道	えりも町,月形町,沼田町,秩父別町,妹背牛町,北竜町,夕張市,鷹栖町(実証実験)	近畿	三重県 多気町,東員町
東北	青森県	むつ市		兵庫県 相生市,朝来市(実証実験)
	岩手県	遠野市,八幡平市,岩手町,岩泉町(実証実験),大船渡市(※),陸前高田市(※),住田町(※)※未来かなえ機構経由		大阪府 藤井寺市
	宮城県	丸森町,角田市		奈良県 三宅町,川上村,川西町
	福島県	石川町		和歌山県 海南市,紀美野町(実証実験)
関東	千葉県	市原市,白子町	中国・四国	鳥取県 大山町
	埼玉県	横瀬町,上尾市(実証実験)		島根県 美郷町
	東京都	府中市,日野市		広島県 府中市,安芸太田町
	神奈川県	横浜市港北区,南足柄市,大井町,箱根町(実証実験)		山口県 県全体(19自治体)
中部	新潟県	村上市	徳島県 県全体(24自治体)	
	富山県	県全体(15自治体)	愛媛県 伊方町	
	石川県	能登町(実証実験)	高知県 四万十町(実証実験)	
	福井県	南越前町	九州・沖縄	長崎県 南島原市,小値賀町
	山梨県	富士河口湖町		熊本県 菊陽町,高森町(実証実験)
	長野県	白馬村,木祖村		鹿児島県 錦江町,宇検村
	静岡県	裾野市,川根本町		沖縄県 伊江村,宮古島市(実証実験)
		愛知県	春日井市,南知多町	

全国実装の  
経験あり

- ・ コロナ禍における「令和2年度補正遠隔健康相談体制強化事業」の委託先として採択される
- ・ 2020年5月1日-8月31日全国民へ、無償提供

産婦人科オンライン・小児科オンラインを妊娠期から提供することで  
産後うつ病の高リスクとなる人の割合がおよそ**2/3に減少**（ランダム化比較試験）

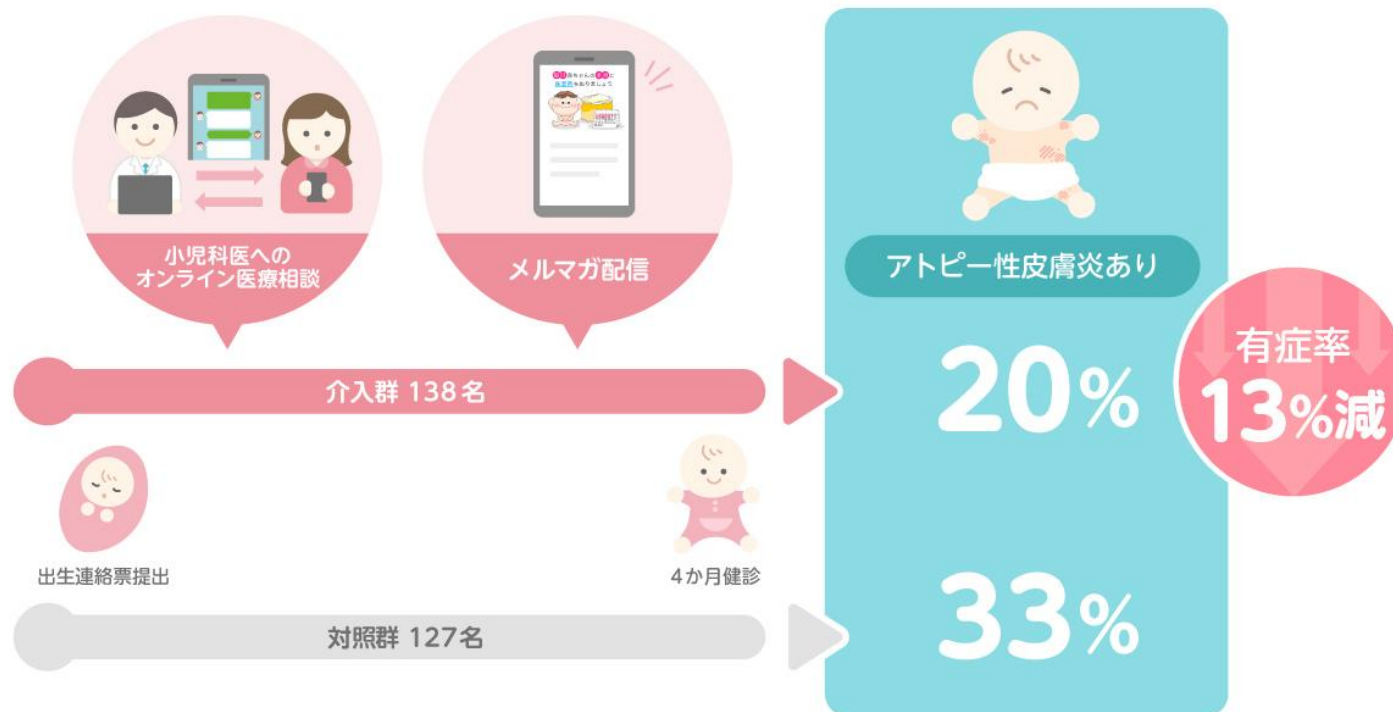


※横浜市「令和2・3年度オンライン健康医療相談モデル事業における成果連動型業務委託」

※令和2年9月1日～令和4年2月28日まで横浜市に在住の妊産婦へオンライン医療相談（遠隔健康医療相談）や医療・健康情報を提供

※国立大学法人東京大学の研究チームからの学術的評価

## アトピー有症率13%減少 —RCTで実証—



### ■研究の概要

対象：2017年11月1日～2018年5月31日の間に、横浜市栄区に出生連絡票を提出した母子

方法：オンライン医療相談などを提供する介入群と、提供しない対照群にランダムに振り分け、介入群には、出生連絡票提出後から生後4か月までオンライン医療相談の無料提供とメールマガジンを配信

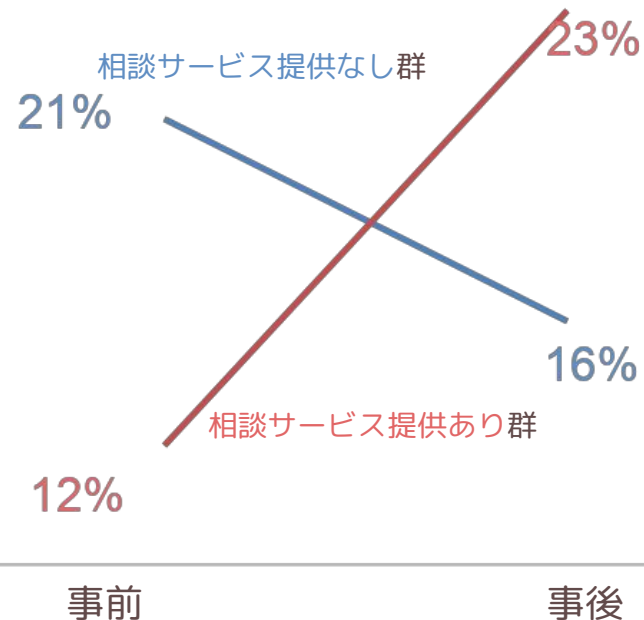
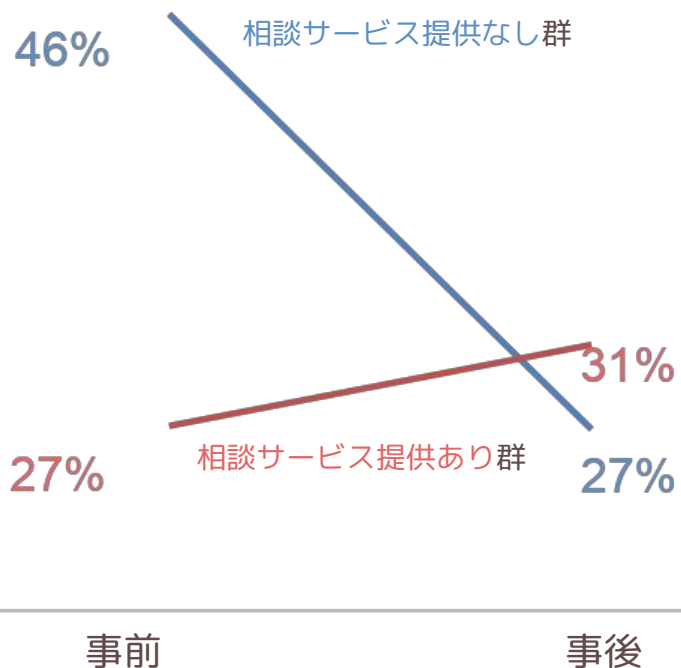
対象者数：介入群140名、対照群138名（解析対象は介入群138名、対照群127名）

評価方法：横浜市栄区役所で実施された4か月健診の際に、同一の1名の小児科医がどちらの群に属しているかはわからない状態で子どもの皮膚の状態を診察。United Kingdom Working Party (UKWP) criteria に基づいてアトピー性皮膚炎の有無を判断。



疑問や不安があった時に相談できる「小児科医」が身近にいると思う住民の割合

子どもの病気や子育て、妊娠経過、出産に関する疑問を十分に解決できていると思う住民の割合



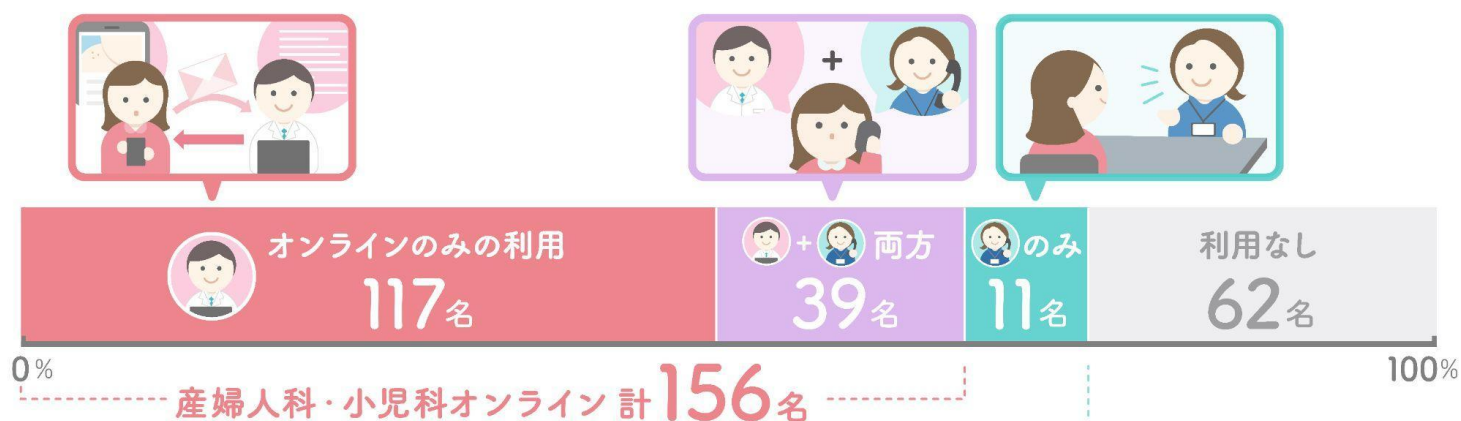
産婦人科・小児科オンラインは、  
小児科医を**1.5倍**身近にさせる

産婦人科・小児科オンラインは、  
**2.1倍**疑問解決をもたらす

※X倍の表現に関しては、多重ロジスティック回帰分析にてPRRを算出して評価した

従来の窓口に加えて産婦人科・小児科オンラインを提供することによって、  
自治体相談窓口単独に比べ**3.1倍**の相談を引き出せた

 産婦人科・小児科オンライン  自治体相談窓口



**3.1倍**の相談件数

調査期間中の産後サポート利用状況 (N=229)

※東京都DX推進実証実験プロジェクト

※産婦人科・小児科オンラインを産後サポートのDX（デジタルトランスフォーメーション）施策として2021年4月から9月まで東京都世田谷区、板橋区の産後住民へ提供

## 令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」の対象に採択

小児科オンライン 産婦人科オンライン

### 働く女性への健康支援プログラム

- オンライン相談**
  - リアルタイムの予約制相談
  - いつでも送れるメッセージ相談
- 産婦人科医とオンラインで定期的にお話**
  - 産婦人科医と定期的にお話
  - 全7回で自分に合った健康情報をもらえる
- 定期的な医療記事配信**
  - LINEやメールで健康情報を提供
  - ヘルスリテラシー向上に貢献

株式会社パソナで働く女性へオンラインでの「健康支援プログラム\*」を提供したところ  
**「ヘルスリテラシー」「生活習慣」「受診行動」「生産性」**  
に良好な変化が認められました。

### 結果一部

#### ● ヘルスリテラシーの変化

- ・ 月経や婦人科疾患の理解度  
開始時 67% → 終了時 **72%**
- ・ プレコンセプションケアの理解  
開始時 20% → 終了時 **47%**

#### ● 生活習慣改善度

- ・ 健康状態を意識して運動習慣を整えられている  
開始時 28% → 終了時 **55%**

\*オンライン相談窓口の提供、産婦人科医とのオンライン定期面談、定期的な医療記事配信

## 相談実績

2016年のサービス開始以来、

**10万件**を超える

の相談に対応

## 医療事故の発生件数

利用後、健康被害に関する訴えは

**0件**

※弊社側の過失が発生した場合に、補填できる保険に加入しているが、過去に利用実績はなし

- 相談サービス利用時に同意文言の中に医療行為ではないことを明示。オプトインでの了承を得た上で、サービスを利用いただいております。
- また、相談対応時には、どういう状況になったら通院すべきかのアドバイスまで行うよう、相談員（医師・助産師）には指導しております。



オンラインを通して医師に相談できるのは本当にありがたいです。直接話を聞いてもらえるとうんざんできます。今後も活用させていただきたいと思います。



何かあった時いつでもどこでも相談できる環境があることにすごく安心した。時代に合った取り組みだと思う。対面では言いづらいこともLINEだったので打ち明けやすかった。



どんなに些細なことでも対処方法を教えて頂き、親の精神的にも安定剤となりました。こと細く具体的にこんな状態だと受診が必要ですよだったり、私の子どもに対する対処方法を褒めてくださったりと母として認めてもらえた気分にもなり、落ち着く事が出来たこともあります。いつもありがとうございます。



病院では聞きにくいこと(時間の関係等)この程度で受診してもいいのか?と思ったとき相談できるので助かります。夜間、相談し緊急受診の必要性は低いとアドバイスもらえるとうんざんにつながります。ありがとうございます。

# 導入について



導入時、住民様への告知にご協力いただけますと幸いです。  
それ以降は基本的に弊社で対応させていただきます。

	導入前	導入後
自治体様	<ul style="list-style-type: none"><li>・告知活動（ポスター掲載・メディア展開など）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・（追加での告知活動）</li></ul>
弊社	<ul style="list-style-type: none"><li>・システム設定</li><li>・告知物制作（ポスターなど）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・住民からの相談対応・質問対応</li><li>・（自治体様へ）利用状況のご報告</li></ul>

# 補助金一覧

confidential

省庁	担当部署, 連絡先	名称	補助率	上限額	時期	特徴
こども家庭庁	こども家庭庁 母子保健課母子保健係  03-6862-0413	母子保健対策強化事業*	1/2	6043千円（令和5年度）	令和5年度も対象	「SNSを活用したオンライン相談」が対象と明記あり
	こども家庭庁 少子化対策室  03-6860-0142	地域少子化対策重点推進交付金（結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組）	1/2～2/3 （自治体の重点項目による）	令和4年度補正 都道府県 1 市区につき 1億5千万円 政令指定都市・中核市・特別区 1 市区につき 4,500万円 上記以外の市町村 1 市町村につき 2,250万円  令和5年度 都道府県 1 市区につき 66,666千円 政令指定都市・中核市・特別区 1 市区につき 20,000千円 上記以外の市町村 1 市町村につき 10,000千円	令和5年度も実施	メディア配信（自治体情報含む）+SNS相談窓口 の組み合わせで重点補助事業となり、2/3補助となる。 申請は都道府県にし、都道府県が内閣府に申請となる。
	こども家庭庁 成育局成育環境課相談支援係 03-6861-0228 seiikukankyousoudan@cfa.go.jp	妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施（出産・子育て応援交付金）	国 1/2 都道府県1/4 市町村1/4 （令和5年度）		令和5年度も対象	プッシュ型の情報発信、随時相談の実施を推奨が可能
厚労省	地域医療計画課 Tel: 03-3595-2186	地域医療介護総合確保基金	国→都道府県 2/3補助（都道府県→市区町村の補助率は県の裁量）	国の予算内であればよし	県から国は、毎年3月ごろ要望を提出し、内示は10月ごろ出る。予算が余った場合は10月ごろに二次募集もある	複数年要望もありえる。都道府県がメニュー化するかが肝となる。#8000も適応になっているので、適応にはなるだろう。
内閣府	内閣府地方創生推進室 デジタル庁 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局デジタル田園都市国家構想推進交付金（推進タイプ） 地方創生推進事務局 Tel: 03-3581-4214	デジタル田園都市国家構想交付金	令和6年度は要確認	要確認	令和5年度は締め切り。 令和6年度は要確認。 （例年ですと令和5年11月公開、12月募集開始）	多分野にまたがっていることがポイント：育児支援+産後うつ予防+夜間受診適正化etc, 早めの問い合わせが望ましい
	内閣府地方創生推進室 デジタル庁 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ）担当 e-mail : digitaldenen-kofukin.f7k@cao.go.jp tell : 03-6257-3889	デジタル田園都市国家構想交付金	令和6年度は要確認	要確認	令和5年度締め切り。 令和6年度は要確認。 （例年ですと令和5年11月公開、12月募集開始）	デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む コンソーシアムを形成する等、地域内外の関係と連携し、事業を実行的、継続的に推進するための体制の確立すること

※詳しくは各担当部署にご確認ください。

キーワード：育児支援、産後うつ予防、母子保健、ICT、地方創生、自殺予防、医療体制整備、コロナ、オンライン保健指導、オンライン医療、孤立予防

\*母子保健対策強化事業については、次ページに資料添付あり

※2023年5月現在

拡  
充推  
進  
枠

## 母子保健対策強化事業

令和5年度概算要求額：母子保健医療対策総合支援事業費補助金 30億円(5.3億円)

### 1. 施策の目的

両親学級のオンライン実施やSNSを活用したオンライン相談など、妊産婦等のニーズに応じたアクセスしやすい多様な相談支援を行うとともに、母子保健に関するデジタル化や、都道府県による母子保健の支援体制を強化することで、妊産婦等の状態を適切に管理するなど、必要な支援が行われるよう体制強化を図る。併せて、居住する地域に医療機関がないこと等により、遠方の妊婦健診や産後ケアを利用する妊婦等の交通費を支援することで、妊産婦の経済的負担の軽減を図る。

### 2. 施策の内容

#### 市町村事業

#### ①母子保健に関するデジタル化・オンライン化等体制強化事業【拡充】

個々の家庭の状況に応じて、適切な支援を提供できるよう、地域の実情に応じた支援体制等の強化を図る。

- (1) 両親学級等のオンライン実施
- (2) SNSを活用したオンライン相談
- (3) 母子保健に関するデジタル化（記録の電子化等）
- (4) 各種健診に必要な備品（屈折検査機器等）の整備
- (5) その他母子保健対策強化に資する取り組み

相談等のオンライン化やデジタル化等の導入経費（母子保健アプリや母子保健情報の電子化ツールの開発経費等）の加算について検討【拡充】

#### ②妊婦健診や産後ケアの交通費支援事業【拡充】

- (1) 遠方(概ね1時間以上)の妊婦健診や産後ケアを利用する妊婦の交通費支援を検討
- (2) 妊婦健診を受診する妊婦のタクシー代支援について検討

#### 都道府県事業

#### ③母子保健に関する都道府県広域支援強化事業【拡充】

- (1) 成育医療等に関する計画の策定や協議会の設置、ニーズ把握や研修会の実施、普及啓発等の広域支援の実施。
- (2) 各市町村の健診等の精度管理、母子保健事業にかかる広域でのデジタル化・オンライン化など支援

### 3. 実施主体等

- ◆ 実施主体：都道府県、市町村
- ◆ 補助率：①②国1/2、市町村1/2 ③国からの補助の導入を検討
- ◆ 補助単価案：①6,043千円、母子保健のオンライン化・デジタル化等導入加算【拡充】  
②③所要額について検討



## 出産・子育て応援交付金

令和5年度予算案：370億円

### 1. 事業の目的

- 核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくない。全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が喫緊の課題である。
- こうした中で、地方自治体の創意工夫により、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施する事業を支援する。

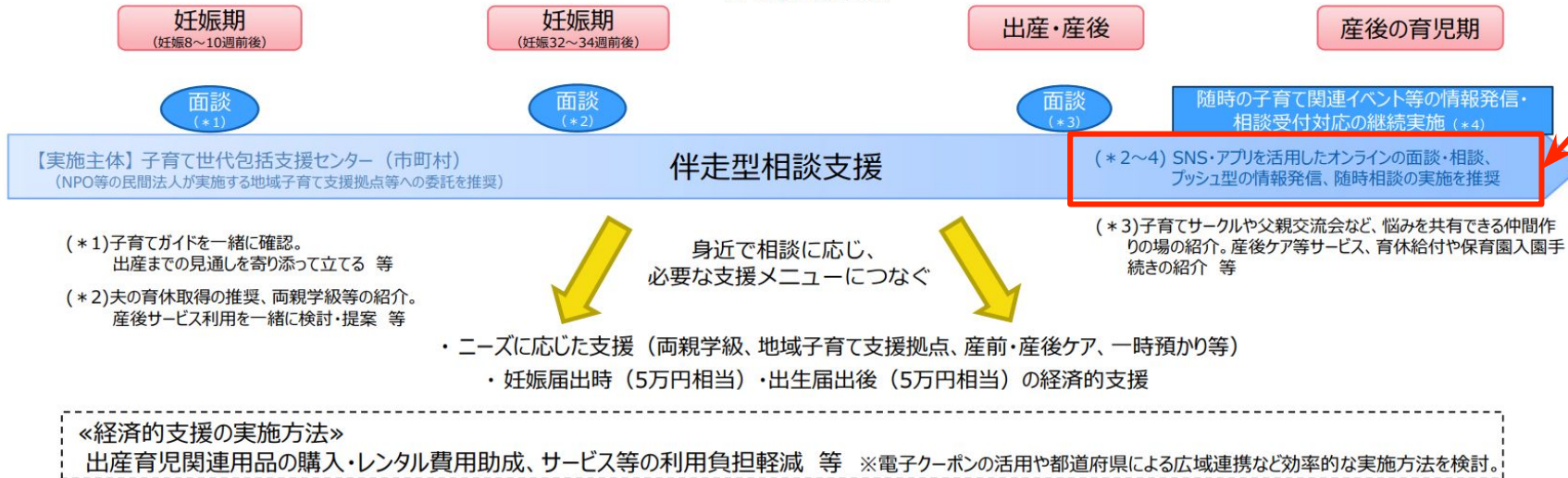
### 2. 事業の内容

- 市町村が創意工夫を凝らしながら、妊娠届出時より妊婦や特に0歳から2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行うことを通じて必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援(計10万円相当)を一体として実施する事業を支援する。

産婦人科・小児科オンラインであれば、「プッシュ型の情報発信、随時相談の実施を推奨」が可能

#### 妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援のイメージ

※ 継続的に実施



### 3. 実施主体

市区町村(民間等への委託も可)

### 4. 補助率

- 伴走型相談支援：国1/2、都道府県1/4、市区町村1/4
- 経済的支援：国2/3、都道府県1/6、市区町村1/6 ※クーポン発行等に係る委託経費は国10/10

6

## 導入時の住民様の声や、自治体様の対応工数を実感いただけます

昨年度も多くの自治体様が無料トライアルを経て、導入に至りました

**対象：** 来年度、産婦人科・小児科オンライン導入を検討の自治体様

**期間：** 3ヶ月程度

**登録上限：** 年間出生数20名未満 ▷基本は登録上限50名まで

年間出生数20名以上 ▷基本は登録上限100名まで

**対象年齢：** 0歳児を育てる保護者向けがおすすめ

**開始時期：** トライアル実施決定後、最短3週間での開始が可能

**契約手続：** 必要なし（ご希望があれば協定書締結）

**効果検証：** 事業終了間際にアンケートを実施

**成果物：** 期間終了後 アンケート結果と期間中の登録、利用件数やご利用者の声を提出

保健師様の活動阻害や、医師会との関係性悪化は過去の導入自治体様において発生していません。

日常の妊産婦、子育て支援業務への悪影響  
(説明方針の違いやクレーム対応)

医師会や地元の医師からのクレーム



発生なし  
100%



発生なし  
100%

※2021年12月弊社サービス自治体様へのアンケート (N=24) において、「よくあった」「たまにあった」の回答は0

自治体の妊産婦・子育て支援として評価は高く、  
継続を希望いただいています。

サービス導入により・自治体の妊産婦子育て  
支援が充実したと感じますか？

充実したと  
感じる  
100%

今後もサービスを継続すべきと感じますか？

継続すべき  
100%

※2021年12月弊社サービス自治体様へのアンケート（N=24）において、「そう思わない」「どちらかと言うとそう思わない」の回答は0



特定のご利用者が、相談対応する医療者に過度な精神的負荷をかけるような相談を繰り返した場合、もしくは、他者の利用を妨げる頻度でご利用された場合、利用停止等の措置を取らせていただく場合がございます。

ご利用者には下記の個人用利用規約(<https://syounika.jp/terms>) に同意いただいております。

#### 第4条2項（法人等利用契約）

本利用者は、自身又は家族が所属する利用法人等と当社との間で締結した法人等利用契約の内容に従い、本サービスを利用する場合には、次条に定める会員登録の上、本サービスを利用することができます。

ただし、特定の本利用者が利用を過度に繰り返し、他の利用者の利用を阻害するおそれのある場合には、利用の回数制限又は禁止を求める場合があります。

#### 第5条6項（会員登録）

本サービスの利用開始後に、前項に定める各号事由のいずれかに該当した方、又は該当することが判明した方については、当社は、当社の判断により、その時点で本サービスの全部若しくは一部の利用を制限することができるものとします。なお、当社はその理由について一切の開示義務を負わないものとします。

#### 第9条3項（遠隔健康医療相談サービス）

連続した時間帯での予約及び他の登録会員の方の利用を著しく阻害する頻度での予約及び利用はできません。

## 対象の方への連絡の流れ

14日間に10回以上の利用や、夜間相談を1日複数回利用された方がいた場合に、複数人の医療者が相談内容を確認し、メールを送付することは医学的・社会的に問題ないと判断した場合、対象者に弊社ユーザーサポートより利用を控えていただくようメールにてご連絡させていただきます。

メールした後1ヶ月-2ヶ月間注視して同様の頻度だった場合、利用を5日間に1回までに制限させていただき、その旨をメールにてご連絡させていただきます。

※法人様へは事前確認なしにて実施させていただきます。

# 会社概要

会社名	株式会社Kids Public
所在地	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-8-14 神田新宮嶋ビル4階
設立	2015年 12月
代表者名	橋本 直也（小児科医）
事業内容	インターネットを介した成育医療
従業員数	217名（2022年12月現在）
受賞歴	2016.8 Open Network Lab 12th Batch Demodayオーディエンス賞 2016.11 TechCrunch Tokyo 2016「スタートアップバトル」優勝(114社中) 2017.3 東京都から有限責任監査法人トーマツが委託を受けて運営する「ASAC Batch3 Demo Day」優勝 2017.9 第11回キッズデザイン賞にて経済産業大臣賞を受賞 2017.11 第6回健康寿命をのぼそう！アワードにて厚生労働大臣賞を受賞
問い合わせ先	business@kids-public.co.jp



## 橋本直也

CEO,小児科専門医, 公衆衛生修士, 小児科オンライン代表, こども家庭審議会成育医療等分科会委員

2009年 日本大学医学部卒  
2011年 聖路加国際病院にて初期研修修了  
2014年 国立成育医療研究センターにて小児科研修修了  
2016年 東京大学大学院 公共健康医学専攻修士課程卒業  
2015年- 都内クリニック勤務、株式会社Kids Public設立



## 重見大介

産婦人科専門医, 医学博士  
産婦人科オンライン代表

2010年 日本医科大学卒  
2012年 日本赤十字社医療センターにて初期研修修了  
2015年 日本医科大学と関連病院にて産婦人科研修修了  
2018年 東京大学大学院 公共健康医学専攻修士課程卒業  
2022年 東京大学大学院 博士課程(医学)修了  
2018年- 病院勤務、研究活動と並行して、株式会社Kids Publicの産婦人科を統括



木戸 道子

日本赤十字社医療センター  
第一産婦人科部長  
日本産婦人科医会  
勤務医委員会委員長



三石 知左子

東京かつしか赤十字  
母子医療センター院長  
日本小児科学会  
男女共同参画推進委員会委員



五十嵐 隆

国立成育医療研究センター理事長  
日本小児科学会監事  
東京大学医師会会長・理事



伊藤 秀一

横浜市立大学大学院医学研究科  
発生成育小児医療学（小児科学）  
主任教授



鈴木 俊治

日本医科大学  
女性生殖発達病態学大学院教授  
産婦人科診療ガイドライン  
産科編2020作成委員会委員



河合 尚基

日本医科大学武蔵小杉病院  
女性診療科・産科 非常勤講師



秋山 千枝子

あきやま子どもクリニック院長  
公益社団法人日本小児保健協会会長  
東京都児童福祉審議会委員  
厚生労働省社会保障審議会専門委員



吉田 穂波

神奈川県立保健福祉大学  
ヘルスイノベーション研究科教授



森 恵美

千葉大学大学院看護学研究科  
リプロダクティブヘルス看護学教授  
日本母性看護学会理事  
日本母性衛生学会副理事



## 2017年度 経済産業大臣賞と厚生労働大臣賞を受賞



# Kids Public

## Mission

子どもたちの生涯にわたる健康を守り、  
その向上に貢献する

## Vision

生まれ来る全ての子どもたちに届く  
サービスを作る

## Value

生活圏において成育医療をより身近なものとする

子育てにおいて誰も孤立しない社会をつくる

産前産後の切れ目ないケアを重視する

成育医療の質の向上に貢献する

成育医療におけるエビデンスの創出を行う

